

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点 中央通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」と歩いてきました。永代通りで日本橋交差点を通過した時に都の大動脈の日本橋を通過する「中央通り」を歩いていないことに気づきました。

今回は「中央通り」を歩いています。写真上右は万世橋交差点からの中央通りの道路名標識（都道 437 号線）です。中央通りは港区新橋交差点と台東区上野六丁目上野駅交差点を結ぶ、延長約 5 km の道です。都心の商業地域や繁華街を通る東京のメインストリートです。前回は起点の新橋交差点から日本橋まで歩きました。

今回は日本橋を渡り、終点の上野六丁目上野駅交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[日本橋] 中央区日本橋室町一丁目

最寄駅 東京メトロ半蔵門線 三越前駅

日本橋の右側を渡ると橋のたもとに「日本橋魚河岸跡の碑」（写真下左）があります。説明板によると日本橋から江戸橋にかけての日本橋川沿いに、幕府や江戸市中で消費される鮮魚や塩干魚を荷揚げする魚河岸がありました。ここで開かれた魚市は、江戸時代初期に佃島の漁師たちが将軍や諸大名へ調達

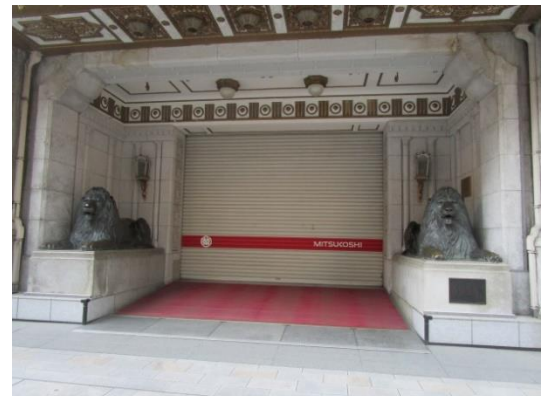
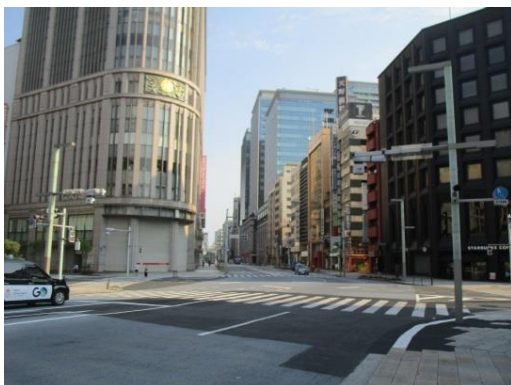
した御膳御肴の残りを売り出したことに始まります。1日に千両の取引があったともいわれ賑わう場所でしたが、1923年（大正12年）の関東大震災後に築地に移りました。



日本橋方面を振り返りました（写真上右）。日本橋北詰に「日本国道路元標のモニュメント」（写真下左）があります。徳川幕府が定めた五街道の起点を明治政府が踏襲しました。日本橋上にあった東京市道路元標は撤去され、日本国道路元標が埋められました。写真下右は「日本国道路元標のレプリカ」です。



中央通りは三越方面へ直進します。写真下右は「日本橋三越のライオン像」です。



写真下左の建物の名称が「コレド」、写真下右の建物が「ユイト」です。
コレド (COREDO) はCORE (中心) + EDO (江戸) で江戸の中心を、
ユイト (YUITO) は都・人・時を結ぶ 結都 (ゆいと) を意味するそうです。
いずれも商業ゾーンを開発した不動産会社の造語です。

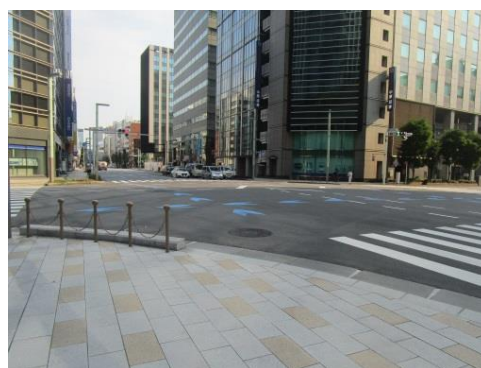


〔室町三丁目交差点〕

日本橋室町三丁目

最寄駅 JR総武快速線 新日本橋駅

室町三丁目交差点 (写真下右) で江戸通りと交差します。江戸通りは左から都道 407 号線となり新常盤橋方面に行き、右からは国道 4 号線で浅草橋方面へ行きます。中央通りの道路名もここから国道 17 号線に変わります。



〔今川橋交差点〕

千代田区鍛冶町一丁目

最寄駅 JR 神田駅

室町四丁目交差点から千代田区に入ります。今川橋は龍閑川のかかる橋で名主の今川善右衛門の姓をとって付けたとのこと。江戸時代は橋のもとに瀬戸物屋が集まっていたそうです。

1950年（昭和25年）龍閑川の埋め立てと同時に廃橋解体されたとのこと。中央通りの右側を歩いていると神田駅手前の右の建物の壁に「謄写版発祥の地」の説明板（写真上左）があります。1894年（明治27年）堀井新治郎父子がわが国初の簡易印刷機を発明し、「謄写版」と命名、この地で「謄写堂」を創業しました。寅さん歩 429 東京の発祥之地めぐり（学問・文化編 7）をご覧ください。



〔神田駅交差点〕 千代田区鍛冶町二丁目 最寄駅 JR 神田駅



神田駅交差点（写真左）の左は神田駅です。中央通りはJR線のガードの下を進みます。寅次郎、若い頃、藤沢へ帰る東海道線の終電を逃して定宿にした神田ステーションホテルがこの近くにあったのを思い出しました。

〔須田町交差点〕 千代田区神田須田町一丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 淡路町駅

須田町交差点（写真下右）で靖国通り（都道302号線）と交差します。左へ行くと九段下方面、右へ行くと浅草橋方面です。中央通り（国道17号線）は右の万世橋方向へ直進します。



まもなく前方に「万世橋」(写真下左)が見えてきました。かつては中央線の万世橋駅や交通博物館があったところです。

現在は赤レンガの建物は「マーチエキュート神田万世橋」でレストランや洒落たお店があります。寅次郎、食欲旺盛の頃は万世橋角の「肉の万世」でお肉のランチを食べていました。少食になった今では考えられませんが・・・。

写真下右は万世橋から昌平橋方面を撮りました。



[万世橋交差点] 千代田区外神田一丁目 最寄駅 JR 秋葉原駅



万世橋交差点（写真上右）で国道 7 号線は左へ行き、中央通りは都道 437 号線に変わり直進します。写真上右は万世橋「肉の万世」方面を振り返りました。

〔外神田五丁目交差点〕 千代田区外神田五丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 末広町駅

外神田五丁目交差点（写真下左）で蔵前橋通り（都道 315 号線）と交差します。左へ行くと湯島方面、右へ行くと蔵前方面です。交差点左角に寅次郎おなじみの「たい焼き屋」がありますが、この日はまだ閉まっていました。



〔上野広小路交差点〕 台東区上野二丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 上野広小路駅

上野広小路交差点（写真下右）で春日通り（都道 453 号線）と交差します。左へ行くと本郷方面、右へ行くと厩橋方面です。



前方は西郷隆盛像がある「上野のお山」(写真下左)です。道なりに行くとJR上野駅不忍口で前には「あゝ上野駅の碑」があります。下には歌詞が書かれています、「♪ どこかで故郷の香りをのせて～ ♪」と寅次郎は口ずさみました。



[上野駅交差点] 台東区上野六丁目 最寄駅 JR 上野駅

上野駅不忍口(写真下左)を過ぎると、上野駅交差点(写真下右)で中央通りの終点です。中央通りを起点から終点まで歩いて、江戸時代から現代までの歴史が詰まったメインストリートを歩いたという感じが強いです。歴史の陰には多くの喜びや悲しみがあつたことでしょう。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ

「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2022 年 10 月 8 日 岩出山（現在の宮城県大崎市）（江戸深川から 786 km）に到着しました。これから鳴子 尿前関（しとまえ）へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝